

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ASCENT SOLID/PEARL	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ASCENT SOLID

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

テストボール：ASCENT PEARL

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

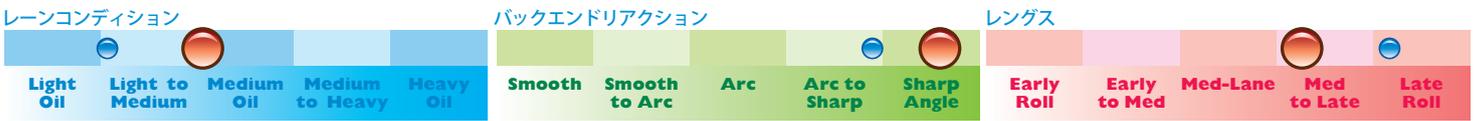
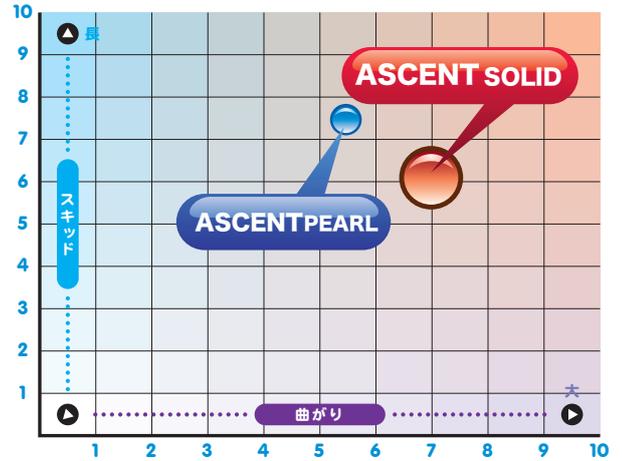
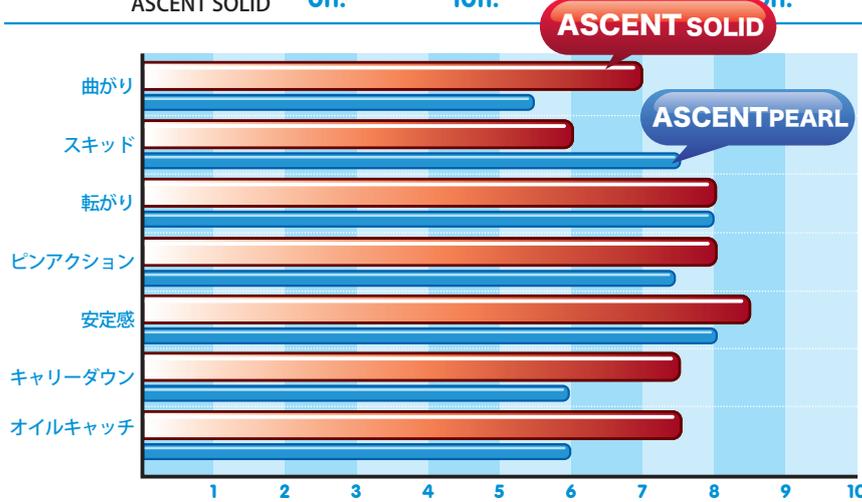
研磨剤

番

ASCENT PEARL



ASCENT SOLID



ボールの評価

MOTIV社ミディアムコンディション用の中で定評のQZ-1、QZ-2と同じMOTIVator-Z リアクティブカバーの κατηγοリーをSolidとPearlの2種類に分別して、ライト用のスペックで使用された"Recon"コアを搭載。Solidカバーはミッドエリアから強いトラクションを感じる性能を前面に出し、Pearlカバーはスキッド重視し、先でのangularなバックエンドリアクションを特徴とさせました。今回SolidカバーとPearlカバー両方での発売ですが、同じコアを使用しているにもかかわらず各々カバーの特性がリアクションに表れており、非常に面白い仕上がりです。SolidカバーはQZ-2と同じカバーですが、Solid素材のキャッチがオイルゾーンでの安定感を見出していますし、QZ-2の曲りのイメージよりも思っている以上にミッドエリアからの強いトラクションを感じます。一方Pearl素材は思っている以上にスキッドを長く感じ、先でシャープに動きます。投球前に私には「なぜReconコアなのか？」が理解できませんでしたが、双方を投げ比べてその意図が分かりました。Reconコアは高めのRGと低い△RGが特徴で、このAscentにまず先での動きを双方に求めたのではないかと。その曲がり始めのイメージはカバー素材で調整し、二つのボールを違うカテゴリーで分類することで、ボウラーにその選択を委ねること。キャッチは強く感じても先でしっかりと動くSolidか、かな長めのスキッドでライト用に攻撃的に攻めるPearlか、Pearlはピンクとパールの綺麗な色の組み合わせで、目を惹く配色です。Reconコアを採用された前作のRX-1Reconはスキッド感と先でのシャープな動きで根強い人気を誇りました。特にPearlバージョンはそのカテゴリーに部類できますので、前作Reconの代用として気に入って頂けるでしょう。

特記事項

Reconコアを使ったSolidバージョンとPearlバージョン。ミッドエリアからキャッチを魅せるSolidか、スキッドとシャープなangularモーションのPearlか。目的に合わせてチョイスしてください。